

↔ Sonarworks SoundID Reference & MERGING+ANUBIS



Integration Guidelines

V.0.2



Sonarworks SoundID Reference and Anubis integration

MERGING+ANUBISは、コンピュータ外で SoundID Reference の補正を可能にする初めてのハードウェアです。

SoundID Reference (旧Reference 4ソフトウェアの次世代バージョン)は、不要な色付けを取り除き、正確なスタジオ リファレンス サウンドを提供するスピーカーとヘッドホンのキャリブレーション ソフトウェアです。SoundID Referenceを使用することで、どこで作業しても、フラットで一貫したサウンドを聴くことができます。

Sonarworks の SoundID プロファイルを Anubis にアップロードし、ルームまたはヘッドフォン補正を行います。Anubis が部屋やヘッドホンを補正しますので、もう補正のためにPCシステムを動作させる必要はありません。

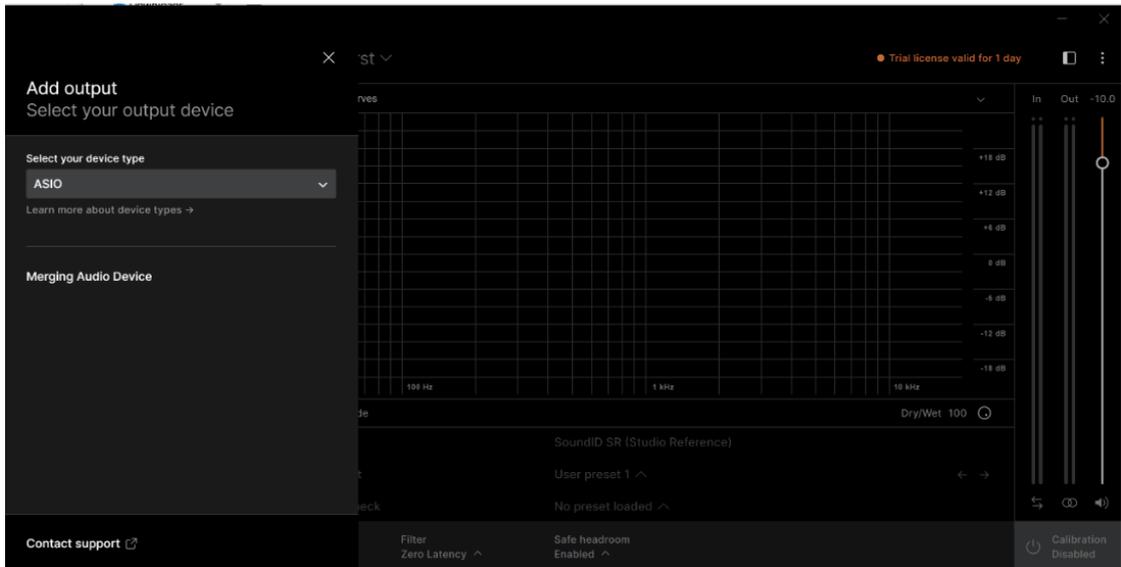
Prerequisites

- Monitor Mission または Music Mission を実行している Anubis。
- Merging Anubisファームウェア 1.2.5以降。
- Sonarworks SoundID Reference バージョン 5.1.0 以降のフルライセンス版。
- SoundID Referenceをインストールし、Measureが実行された結果の Room Correction ファイルまたはHeadphonesプロファイルがあること。
- SoundID の出力が、MAD または VAD に設定されている必要があります。
- エクスポートしたプロファイルは、同じシリアル番号の Anubis にのみ再インポートすることができます。

Note: SoundID Reference の補正は44.1kHzから192kHzまで使用可能です。352.8kHz(DXD)、384kHzは今後のファームウェアリリース(1.2.5以降)で対応予定です。DSDIには対応していません。

Procedure

1. Sonarworks SoundID reference と Measures(Room Correction オプション)をダウンロードし、インストールしてください。
2. SoundIDの "Add Output"を選択し、Merging VAD (mac) または MAD (PC) で実行するように設定します。
3. Merging Audio Device (MAD-PC) または Merging RAVENNA/AES67 (VAD-macOS) のいずれかを選択します(次の画像)。



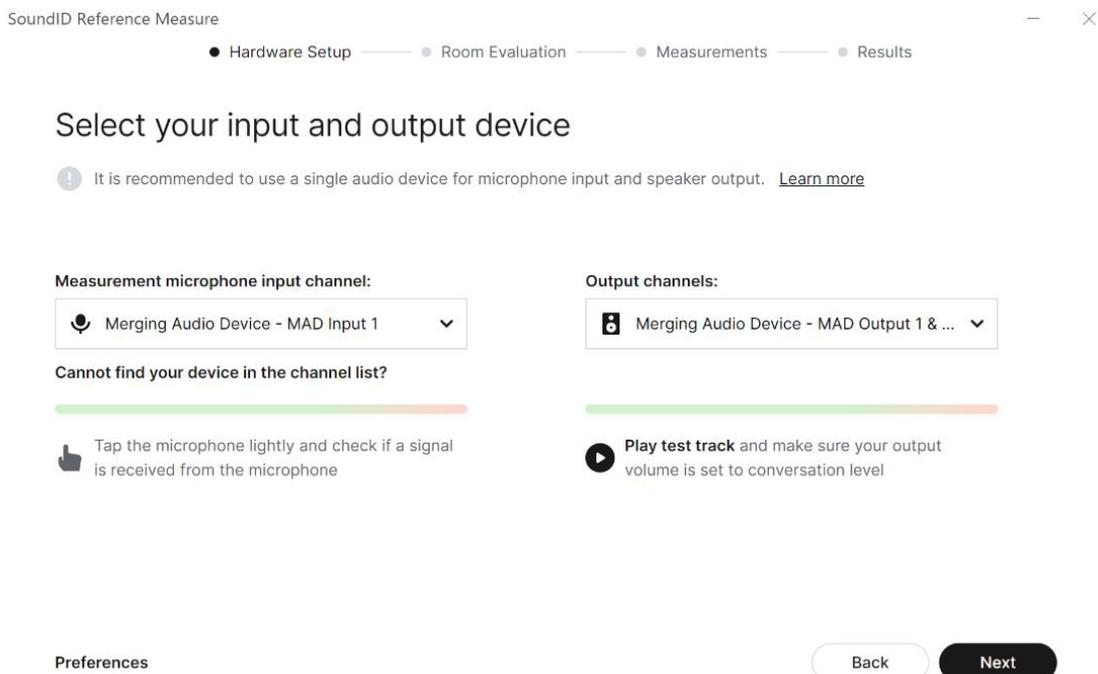
Note: "Play a tone" テストは一部のシステムで動作しない場合があります (既知の SoundID)。

4. Speaker Profileを作成するか、Headphones Profileを選択します。この部分は以下の Sonarworks のドキュメントとチュートリアルに従ってください。

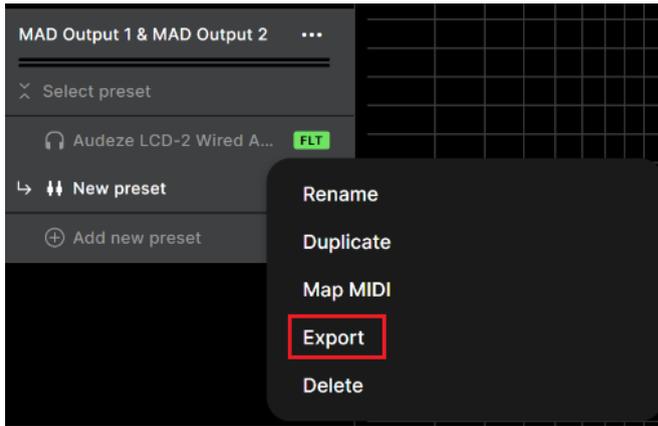
[Speakers SoundID Setup](#)
[DAW and Headphones SoundID Setup](#)

SoundID Reference Measure (Room Correction):

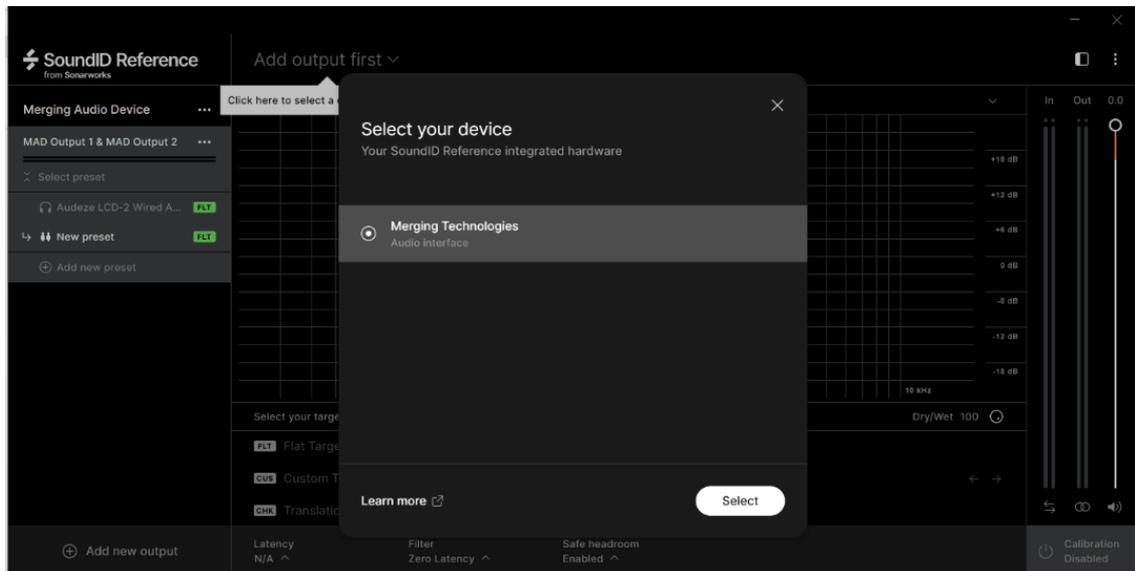
新しいSpeakers Profileを作成する場合、SoundID Measuresで Anubis Mic Input と設定されたDAWアウトプットを以下の画像のように選択してください (MAD IOまたはVAD IO)。



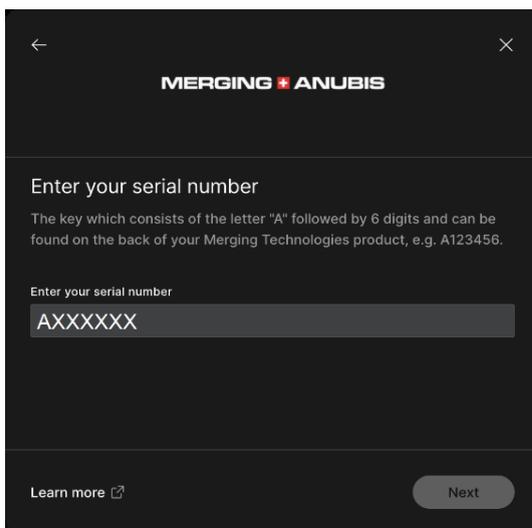
5. SoundID 内で Profile が生成されたら、選択し"Export"してください。



6. プロンプトダイアログでMerging Technologies (Audio Interfaces)エントリーを選択してください。



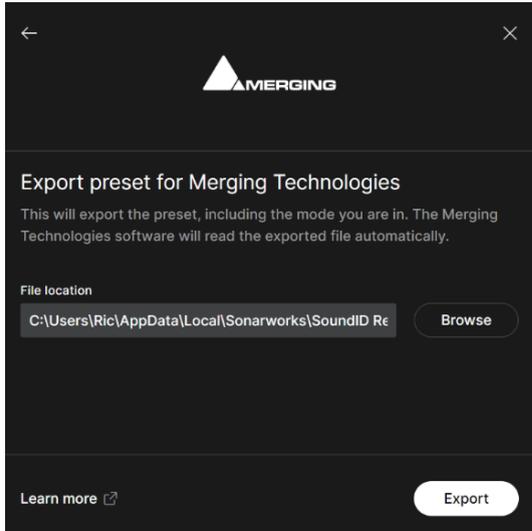
7. Anubisのシリアルナンバーを入力します。シリアルはAnubisの底板、または Settings > Info page -> AXXXXXX、または ANEMAN 内、または MTDISCOVERY 内で確認することができます。



Note: Anubis は接続する必要はありませんが、エクスポートされたプロファイルをインポートするAnubis のシリアルと一致する必要があります。



8. エクスポートされたSoundIDプロファイルのパスを注意深くメモしてください。エクスポート先のフォルダを変更したい場合は、Browse ボタンをクリックして変更してください。



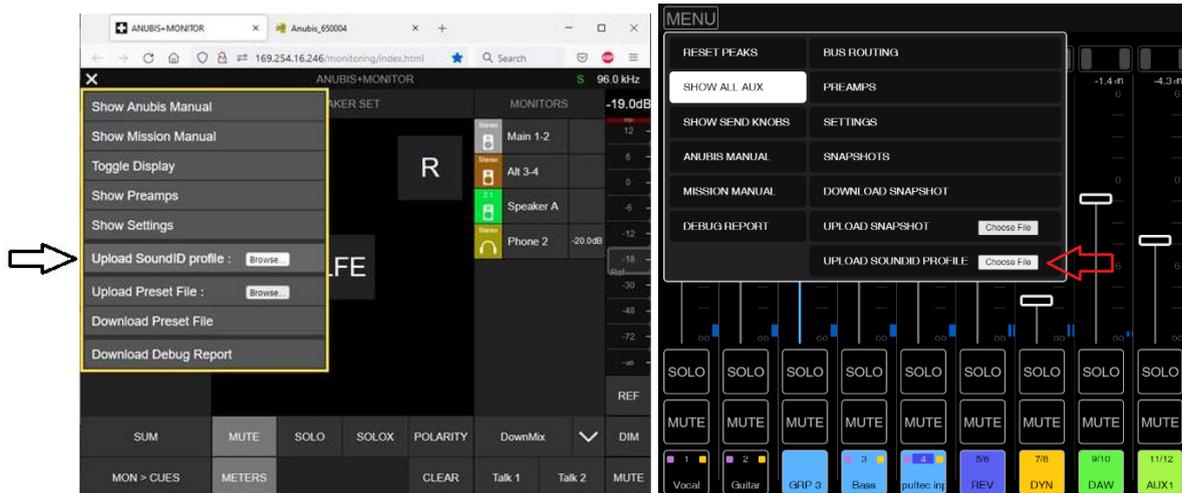
9. Profile をエクスポートしたら、SoundIDを無効にするか、または終了してください。
10. Anubisにプリセットプロファイルをインポートするには、Anubis Remote Web Access ページを起動してください。MAD, VAD, ANEMAN で Anubis アイコンをダブルクリックしてください。



⇐ Double Mouse Click

Anubis_660037

11. ウェブアクセスを開き、左上のメニューから "Upload SoundID profile "を選択すると、Anubisに Profile をインポートすることができます。



Monitor Mission Web Access

Music Mission Web Access

12. これで Profile が Anubis にインポートされます。Profile を管理(名前の変更、削除)するには、settings > SoundID Reference ページで行ってください。



Number	Imported Profiles Names	Target	Trash
1:	Audeze LCD-2 Wired	FLT	
2:	Speakers_MoMI	FLT	
3:	Sennheiser HD 280 Pro Wired Averag	CUS	

Number: Profile は、アルファベット順にソートされます。

Name/Rename: 名前部分をタップしてバーチャルキーボードを開き、名前の変更が行なえます。

Target: SoundID のターゲットモードです。

- **Flat:** フラットなターゲットカーブ。SoundID SR (Studio Reference) は、Headphones も定義します。
- **Check:** 特定のリスニング環境またはデバイスをシミュレートします。
- **Custom:** ターゲットカーブの調整、または特定の周波数領域でキャリブレーションの制限を行います。

Delete: ゴミ箱のアイコンをタップすると、その Profile が削除されます。



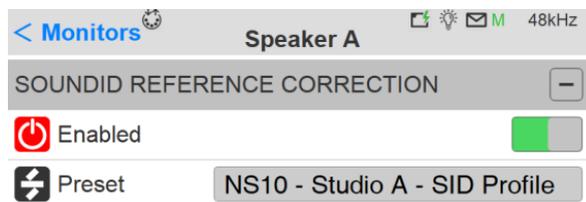
Monitor Mission SoundID management

Monitor Mission で SoundID プロファイルを適用する方法

Restrictions:

- SoundIDプロファイルは、同時に最大2つのReference Corrections(スピーカーまたはヘッドホン)に適用できます。
- Cue は SoundID プロファイルに対応していません。Speaker Set と Headphone に対応しています。
- SoundIDを適用する場合は、Monitor 出力の EQリソースを無効化する必要があります。

Anubis で Settings > Monitor の SoundID Reference Correction で、SoundID プロファイルを適用する Monitor セットを入力します。SoundID プロファイルを Speaker Set 、Headphone のどちらか、または両方に適用します。



Enable

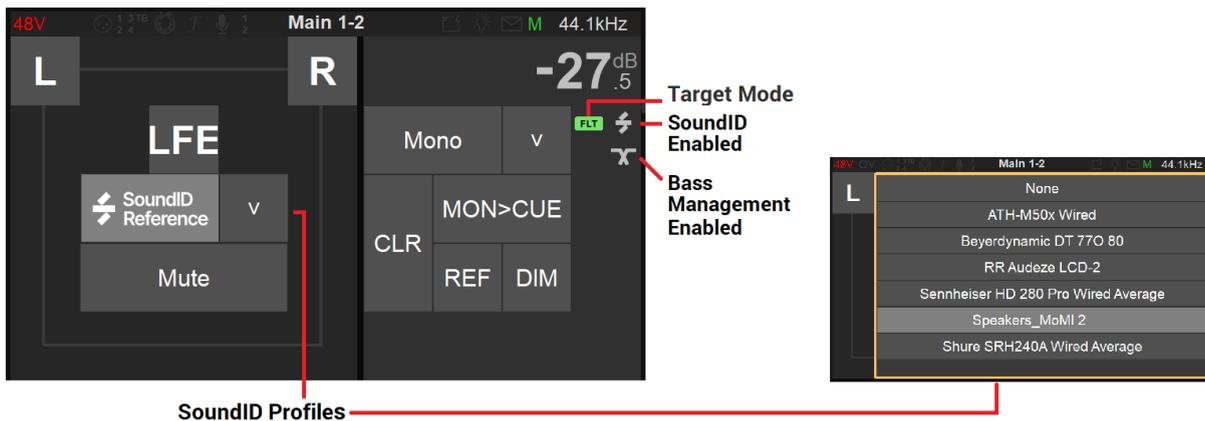
SoundID のプロファイルを有効にします。



Profile

Web Accessページからインポートした SoundIDプロファイルがドロップダウンメニューになっています。

Monitor Main Page Indicators



Note: ドロップダウン リストから SoundID プロファイルを選択してロードしてください。





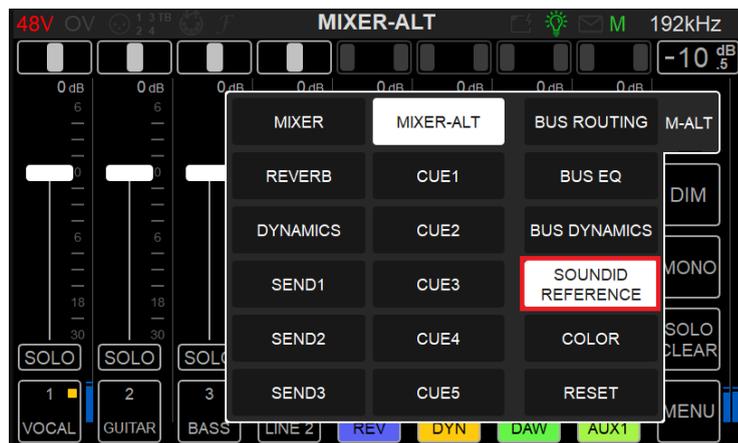
Music Mission SoundID management

Music MissionでSoundIDのプロファイルを適用する方法は以下の通りです。まず、Anubis にプロファイルがインポートされていることを確認してください。

Music Missionでは、SoundIDのプロファイルは Mix Bus Outputs に適用され、ローカルの出力や Peering されたデバイスの出力に適用されます。

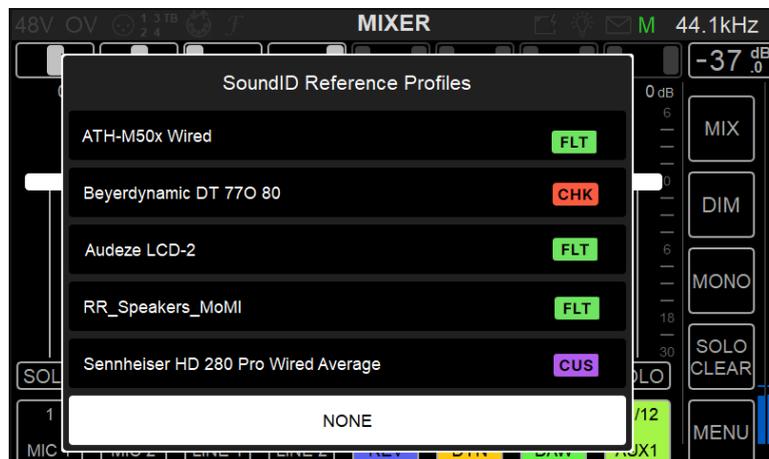
Restrictions:

- SoundIDプロファイルは、最大2つのReference Corrections (Speakers または Headphones) に同時に適用できます。
 - Music Mission Cues は SoundIDプロファイルに対応しておらず、Mix と Mix-ALT にのみ対応しています。
 - SoundIDを適用する場合は、Strip または Bus EQのEQリソースをいくつか無効にする必要があります。
1. Music Mission Mixer Menuを選択して Mix または Mix-ATL Buses の SoundID Reference エントリーをタップしてください。



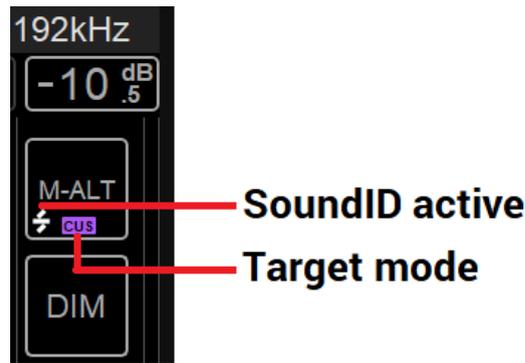
Note: SoundID Referenceの項目がグレーアウトしている場合は、Anubisにまだプロファイルがインポートされていません。インポートが完了していることを確認してください。

2. Mix Busに適用するSoundID Reference Profileを選択してください。





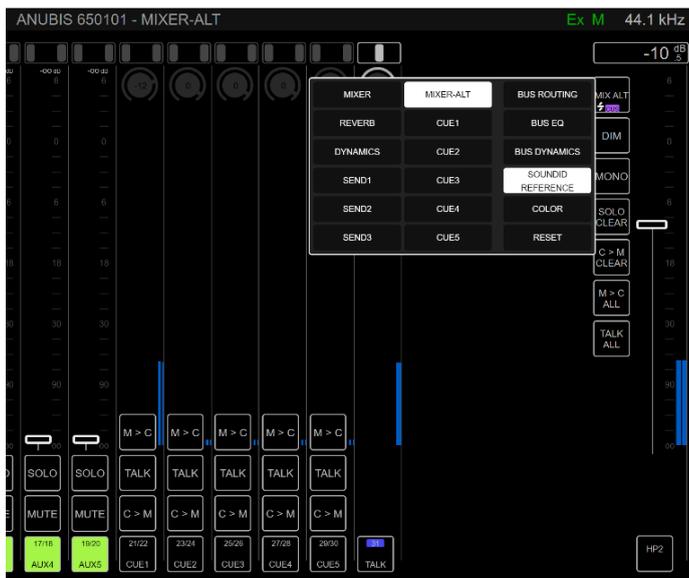
3. プロファイルを選択したら、以下のLogs IDを確認します。



これでSoundIDプロファイルを使ったルームコレクションやヘッドホンコレクションの設定が完了し、いつでもプロファイルの有効化、無効化、再インポート、新規プロファイルの管理ができるようになります。

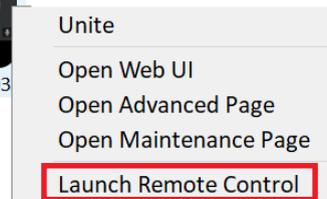
Anubis SoundID Remote Access:

Webブラウザ(Google Chrome推奨)からリモートでSoundIDプロファイルを適用または無効化することができます。VAD-MADのオプションである Anubis Remote Control App もサポートされています。



Web Access Remote

Network Discovery



Remote Control Application